

IFEX・GARDEX 注目出展 ②



大田花きの「在宅セリ」模擬体験コーナー



大森花卉の活発な商談

(株)大田花き(東京都)では、本稼働を開始した「在宅セリ」システムを模擬体験できるコーナーを用意。仕入れを行う花店だけでなく、「見るだけ会員」となる出荷生産者などから注目が高い。6種の黒い竹とキクのディスプレイに共同出展として大森花卉、セロン工業、青山、河野メリクロンなどがあり、積極的な商談を行う風景も印象的



北関東コンソーシアム(株)(群馬県高崎市)は共同仕入れ・相互流通を実現し花き流通・消費拡大を目指す事業内容を、福島花きと群馬中央園芸、茨城県水戸中央花き市場の3社が取引拡大に向けたPRを兼ねた出展



(株)オークネット(東京都)では事業発足から10年の歩みを振り返るポップと生産者への企画提案や鉢物物流の仕組みなどを各コーナーで紹介。「今年はシステムをご説明しようとする」とわかっていていいよ。契約しよう、と昨年までとは違う手応えを得ている。商談席も空気がないほど次々と来客がある。培ってきた信頼が広がっていることを実感した」と語る



e-cera(株)共和住器(愛知県常滑市)は、第1回GARDEXに出展。一つ一つ手作りのかわいらしい表情が大人気のテラコッタ植木鉢アニマルプランターシリーズの新作や表札などを多数出展。フラワーアレンジで屋内利用の提案も行っていった



ジャパン・フラワーネットワーク(株)(東京都)は9小間と出展を大幅に拡大。フラワーアレンジショーを随時開催しフラワーアレンジ展示や加盟店支援システム紹介など幅広く展開



アルフロック利用者協会(東京都)では、アルフロックを利用した台車物流の流れを紹介するVTR(写真上)と、イワタニアグリグリーンは創立20周年の特別価格でのアルフロック販売を実施



花きネット(株)(東京都)は花き市場向け総合ソリューションの紹介を実績とそれらのシステム紹介と普及促進、新サービスを含めた展示



(株)ジャパンプランツ(岐阜市)は、他と差別化を図った輸入サカキや、菊ポット苗、宅配トラストシステム、植物リサイクルシステムなど(写真上)幅広く手がけて展示。実用新案登録した、プリザーブドフラワーを使用する芳香剤のビジネスパートナーの募集をするなど積極的に展開



(株)プロトリーフ(東京都)では、菌根菌など土壌微生物を活用した微生物資材プロトーツを営利栽培用のプロ向け仕様と一般園芸家向け仕様「バイオオルガ」をPR。使う人、育てられた作物、楽しむ人すべてが安心安全な商品として関心も高い



発行所
株式会社 花卉園芸新聞社
カキエンゲイシンブンシャ
発行人 浅田秀逸
本社 〒460-0002
名古屋市中区丸の内2-18-13
TEL 052-201-5771
FAX 052-201-6239
東京支局:港区新橋2-16-1ニュー新橋ビル
601-A TEL.03-3595-1505 FAX1520
© 花卉園芸新聞社 2007
旬刊毎月5・15・25日発行
年間購読料9600円(税・送料)
2年間購読18000円(税・送料)
郵便振替が現金書留で当社へ
郵便振替00810-5-23015
ニュースをお待ちしています
TEL052-201-5771編集部まで
kakiengei@minos.ocn.ne.jp